

対ジブチ共和国 事業展開計画

2017年 4月 現在

基本方針 (大目標)	地域安定化と経済社会開発に対する支援
---------------	--------------------

重点分野1 (中目標)	持続可能な発展のための社会基盤整備
----------------	-------------------

開発課題1-1 (小目標) 産業インフラ整備	【現状と課題】 ジブチは、アジア・ヨーロッパ間の海上物流上の主要な航路であるアデン湾上の要衝に位置している。右に加えて、港灣を有するその他の周辺国情勢が不安定であることもあり、特にエチオピア市場及び南スーダン市場向けの取引・物流は殆どジブチを通じて行われている状況にある。このような状況の中、ジブチ政府は、ジブチをアフリカの角地域における物流上のハブとして機能させるための政策を推進している。			【開発課題への対応方針】 ジブチ政府が経済成長を維持する為に不可欠な産業インフラ整備を行う。								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2016 年度以前	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度		
		ジブチ政府が経済成長を維持するために不可欠な産業基盤強化のため、都市部における電力や運輸インフラ等都市機能の拡充をはじめとした産業インフラ整備を支援する。	ジブチ地熱開発にかかる情報収集・確認調査(物理探査)	基礎情報調査								
			地熱開発試掘プロジェクト	開発計画								
			資源・エネルギー分野の課題別研修	課題別研修								
			道路管理機材整備計画	無償							12.39	
			道路管理機材運用整備能力向上アドバイザー	個別専門家								
			タジュラ湾海上輸送能力にかかる情報収集・確認調査	基礎情報調査								
			インフラ分野の課題別研修	課題別研修他								
	デジタル地理データ更新利用能力強化プロジェクト		技プロ									

重点分野2 (中目標)	経済社会開発を下支えする人材の育成
----------------	-------------------

<p>開発課題 2-1 (小目標) 基礎的社会サービスの向上に繋がる人造り</p>	<p>【現状と課題】 ジブチでは、深刻な人材不足から、多くの一般国民が、教育や保健等の基礎的社会サービスを適切に享受できていない。 教育分野においては、2000年に31%であった初等教育就学率が2014年に68%になる等進捗が見られる。他方、教育の質は依然として問題があり、例えば、初等教育の修了率、教師不足、過密な教室当たりの児童数は改善しなければならない。また、多くの初等教育機関において基礎教育の質が確保されていないため、次なるステップである高等教育や職業訓練の質も確保できないという悪循環が生まれている。 ジブチにおける保健指標は、2015年時点でのジブチ人の平均寿命は62歳、同年における妊産婦死亡率は229名/10万出生、同5歳未満乳幼児死亡率は65名/10万出生と極めて悪い。また、医療従事者の数も極めて少ない(1万人の人口に対し2名の医者)。基礎的社会サービス充実のためにも、このような当地の保健サービスの質は早急に改善する必要がある。</p>			<p>【開発課題への対応方針】 保健分野と教育分野における我が国の政策である「平和と健康のための基本方針」と「平和と成長のため学びの戦略」を念頭に置きつつ、教育の質の向上や保健指標の改善等を目的とした基礎的社会サービスの向上に繋がる人材育成を行うと同時に、同サービスへのアクセシビリティも改善する。</p>									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
	基礎教育改善支援プログラム	初等・中等教育へのアクセス向上を支援するとともに、教育の質を向上させるための人材育成を行う。	初等・中等教員養成校建設計画	無償	2016年度以前	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7.67		
			初等・中等教員養成校建設計画F/U協力	F/U									
			理数科教育強化アドバイザー	個別専門家									
			教育分野の国別研修・課題別研修	課題別研修他									
			教育分野の青年海外協力隊(理科教育、体育)	JOCV									
	医療人材育成支援プログラム	国民の保健・医療サービスの質の向上を図るべく、医療分野における人材育成を支援する。	経済社会開発計画(医療機材)	無償							2.00		
			セネガル第三国研修「仏語圏アフリカ医療機材管理者能力強化プロジェクト」、「看護師・助産師教員能力強化」、エジプト第三国研修「結核エイズマネジメント能力強化」	第三国研修									
			保健分野の課題別研修	課題別研修他									
保健分野の青年海外協力隊(看護師)			JOCV										
開発課題 2-2 (小目標) 雇用に繋がる人造り	<p>【現状と課題】 2014年の失業率は60%とされており(出典:CIA)、地方部及び若年層の失業率に関してはさらに高いと推計されている。また、ジブチ経済が多角化していない一方で、個々の労働者の技術力が低いため、潜在力が高く且つ多くの労働力が求められる産業での雇用機会が失われている。 ジブチ政府としては、今後のジブチ経済の中核となることが想定されている産業(港湾、鉄道、道路、通信及び再生可能エネルギー)、及び産業の多角化を視野に入れた新たな産業(農業・漁業)における人材育成に取り組むことを急務としている。</p>			<p>【開発課題への対応方針】 民間活力の活用も念頭に置いた雇用創出を支援するとともに、女性と若者のエンパワーマントにも重点をえて、雇用に繋がる人材育成を行う。</p>									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
	産業多角化に向けた人材育成プログラム	今後のジブチ経済の中核となることが想定されている産業(港湾、鉄道、道路、通信及び再生可能エネルギー)における人材育成を行い、雇用の促進に	地域的危機状況における若年層の雇用促進	マルチ	2016年度以前	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	0.89	平成28年度補正国連開発計画(UNDP)連携	
			所得機会増進プロジェクト	マルチ								2.73百万USD	世界銀行日本社会開発基金事業
民間セクター開発分野の課題別研修			課題別研修										

	協カプログラム	繋げる。また、サービス産業のみに依存しない多角化した産業による経済を目指すため、農業及び漁業分野等の人材育成を支援する。	職業訓練分野における草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償								0.09		
			産業分野における課題別研修	課題別研修										
			産業分野の青年海外協力隊(農業植林、溶接、家政)	JOCV										

重点分野3 (中目標)	地域の安定化努力強化
----------------	------------

<p>【現状と課題】</p> <p>ジブチは、政治的に不安定な「アフリカの角」地域において安定した政権運営が続いており、ソマリア和平に政治的に関与したり、同国に駐留するAMISOMに部隊を派遣する等地域の和平プロセスに貢献しているほか、我が国自衛隊を含む各国によるソマリア沖海賊対策にも積極的に協力している。</p> <p>2010年12月の大統領令で創設されたジブチ沿岸警備隊は、現在、ジブチ周辺海域における違法漁業、密輸、移民対策のため積極的に活動しているが、組織が設立されて間もないこともあり、海洋での安全保障を図るためには更なる技術的な支援を必要としている。また、ジブチ行動指針に表れているような地域的な海洋安全保障能力の向上も必要である。</p> <p>更に、ジブチでは都市部と地方部の間に開発格差が見られ、温暖化などの気候変動の影響もあり、慢性的な旱魃にもさらされる等、生活環境基盤が脆弱となっている。加えて、ジブチは、ソマリア、エチオピア、イエメン等の隣国から1万7千人以上の難民を受け入れており（2016年12月時点：UNHCR）、年間数万人単位の移民の経由地ともなっている。右は国内経済を逼迫するとともに、時に難民・移民と受け入れコミュニティの間で軋轢を生む原因にもなっている。</p>	<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>ソマリア等周辺国の政情不安に起因し、近年深刻化している海賊、難民・移民等の問題に対処するため、ジブチ政府の対処能力の強化を行う。また、関係する国際機関とも協力しつつ、難民・移民対策等の各種支援を行う。</p>
--	---

開発課題3-1 (小目標)	地域安定化努力強化	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
						2016年度以前	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
海洋安全保障能力強化プログラム			沿岸警備隊の能力を強化するとともに、地域の海洋安全保障能力を向上させる。	ジブチ海上保安能力向上のための巡視艇建造計画	無償							9.24	
				沿岸警備隊能力拡充プロジェクト フェーズ2	技プロ							1.27	
				海洋安全分野の課題別研修	課題別研修他								
				ジブチ行動指針支援(ジブチ地域訓練センター建設等)	マルチ						1.46百万USD	平成21年度補正国際海事機関(IMO)連携	
脆弱層の生活環境支援プログラム			開発が遅れている地方部、ソマリア、エチオピア、イエメン等より流入する難民・移民及び、難民・移民を受け入れているジブチ側コミュニティ等、脆弱な生活環境にあるコミュニティや住民に対して支援を行う。	難民支援分野の青年海外協力隊(難民支援)	JOCV								
				水分野における草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.13	
				食糧援助	マルチ							1.40	平成28年度世界食糧計画(WFP)連携
				食料危機・栄養不足の影響を受けた脆弱な人々への食料支援	マルチ							1.32	平成28年度補正世界食糧計画(WFP)連携
				水資源・防災分野における課題別研修	課題別研修								

【凡例】 「協準」(＝全ての協カ準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「技プロ」(＝技術協カプロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(＝個別機材)、「国別研修」(＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝青年海外協力隊)、「SV」(＝シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(＝第三国研修)、「現地国内研修」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技術協力」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(＝無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「中小企業支援」(＝中小企業海外展開支援事業「ニーズ調査」)、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに基礎調査、実線「———」(＝実施期間)、破線「- - - -」(＝実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。